

業務中事故報告書（最終報告）

1. 発注（報告）機関 <u>名古屋支社 ■■■■保全・サービスセンター</u> (立会者)							
2. 業 務 名 <u>2022年度 中央自動車道 ■■■■管内維持修繕業務</u>							
3. 発 生 日 時 <u>2023年2月1日（水曜日） 11時00分頃（天候：くもり）</u>							
4. 発 生 場 所 <u>E19中央自動車道 下り線：網掛トンネル【263.25kp】走行車線規制内</u> (地先，IC間，測点など) _____							
5. 業務の概要							
(1) グループ会社名 <u>中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社（契約者所在地）名古屋</u>							
(2) 発 注 区 分 本社，(支社) <u>■■■■保全・サービスセンター</u>							
(3) 工 期 <u>2022年4月1日から2023年4月30日まで（進捗率 %）</u>							
(4) 請 負 金 額 <u>■■■■円</u> (5) 延べ労働時間 <u>時間</u>							
6. 事故の状況							
<u>緊急のTN氷除去を実施中、覆工コンクリートからの湧水によりできた氷を除去していた際、落下防止のため人力でおさえていた氷が途中で割れ、はつり作業をしていた作業員の左足甲に落下し負傷した</u> <u>もの。</u>							
7. 被災状況（公衆損害事故については、その第一原因者についても記入すること。）							
公衆，作業員 などの区別	(ふりがな) 氏 名	性別 年齢	職種 経歴	当現場 の経歴	被災者の住所		負傷程度
					所属業者名（本社所在地）元請との関係		
■■■■	■■■■	-	-	■■■■	■■■■		第2第3指中 足骨骨折 左足圧挫創 (全治1ヶ月)
(物損状況)							
<u>なし</u>							
8. 事故に対する所見（原因考察，警察・労基署の所見など）							
<u>未定</u>							
9. 事故発生後の処置							
(業務現場) <u>11：00頃 事象発生</u>							
<u>11：05頃 現場からメンテ担当者に報告</u>							
<u>11：10頃 現場から事務所まで担当者が送迎後、■■■■整形外科へむけて出発</u>							
<u>11：35頃 メンテ課長補佐も病院へ向かう</u>							
<u>11：40頃 NEXCO 保全計画課担当者でメンテ本社へ報告</u>							
<u>11：45頃 ■■■■整形外科へ到着、診察開始</u>							
<u>12：25頃 診察終了 第2第3指中足骨骨折 左足圧挫創（全治1ヶ月）</u>							
<u>15：30頃 メンテ緊急安全大会実施</u>							
<u>17：00 緊急安全大会2部を実施</u>							
10. 取材及び報道 <u>なし</u>							
(本業務の本件までの事故状況) <u>0件，うち死亡 0件，負傷 0件，物損その他 0件</u>							

1 1. 事故原因の詳細

発生原因	人的要素		物的要素		管理的要素	
	慣れによる油断 危険軽視		氷塊が大きくどこで割れるか予想が出来なかった。		つま先以外を防護する保護具を身につけていなかった。安全靴を履いていたが保護されていない所に直撃した。(予想外だった)	
	原因評価 (◎ ○ △)	◎	原因評価 (◎ ○ △)	○	原因評価 (◎ ○ △)	◎

※ 原因評価：事故との関連性 重大=◎ 中程度=○ 軽度=△



【人的要素に基づくヒューマンエラー要因】

※ 事故原因と考えられる人的要素に○印をつける。(複数可)

H 1	無知 未熟練 経験不足 教育不足
H 2	<u>危険軽視</u> 慣れ 悪習慣 集団欠陥
H 3	近道本能 省略本能 能率本能
H 4	<u>陽面行動本能</u> (1点に集中して周囲の状況が見えなかった)
H 5	緊急時のあわて パニック状態
H 6	外的要因錯覚 (見間違い、聞き違い等) 内的要因錯覚 (思い込み等)
H 7	中高年齢者の機能低下
H 8	疾病 疲労 体質 急性中毒等
H 9	単調反復動作による意識レベルの低下

1 2. 事故対策

再発防止対策	人的要素	物的要素	管理的要素
	安全教育、KY活動実施	氷壁が小さい内に撤去作業を実施。 漏水シート工を優先させる。	防護板、足の甲プロテクターを装着して作業する。

※ 対策内容の説明資料を添付すること。

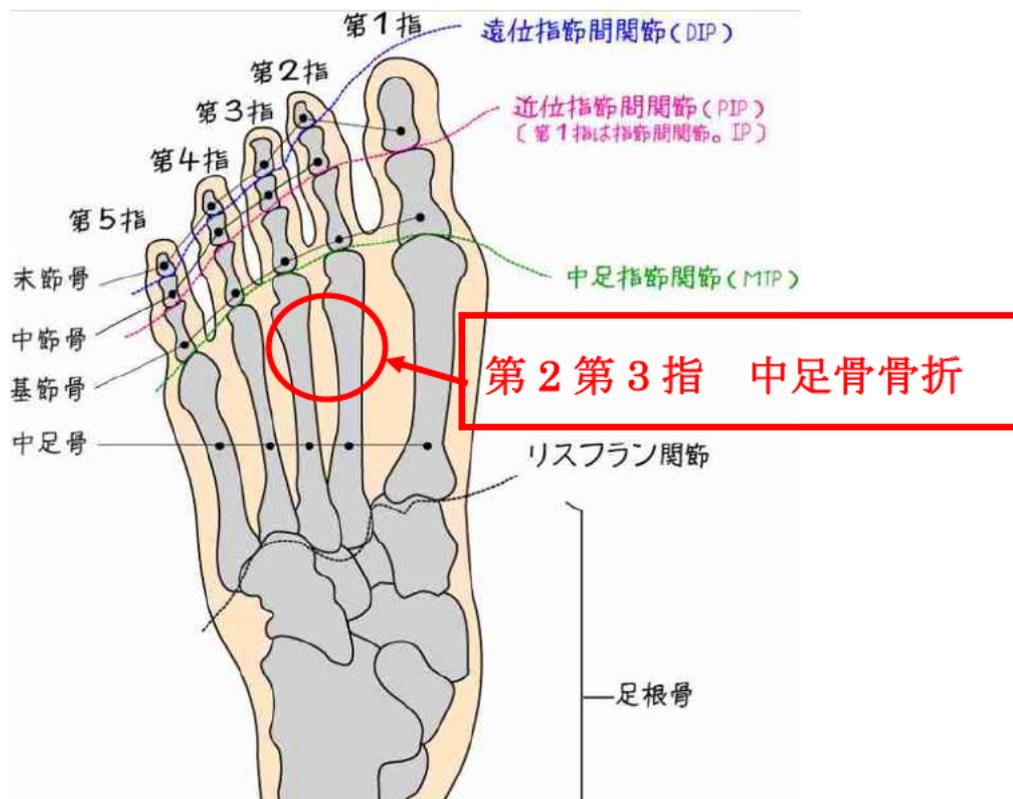
落下した氷



作業状況



骨折箇所詳細図



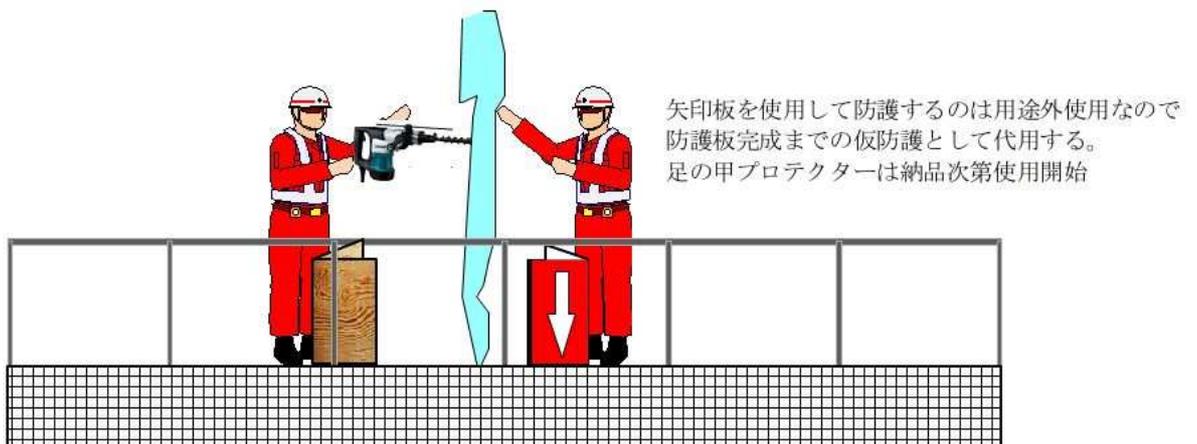
是正処置①

足の甲用 プロテクター 購入配布予定

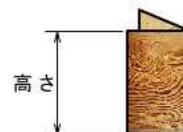


是正処置②

防護板の使用、足の甲プロテクター着用は手順書へ追加する。



足の甲プロテクター
発注予定



作成する防護板
高さは足下が保護できる高さ
50cm～70cmで作成

実際現場で必要な高さを検証し作成

緊急安全大会開催 2023年2月1日 15:30～
17:00～

15:30～開催



現場終了が遅くなった班が出席



足下防護板（検査路が狭いため蝶番で開きを調整可能な物とした）



着脱用 足甲 プロテクタ 安全ゴム長靴用 （納品完了）

